

2014年～2015年忘新年会、参加回数は「前年並み」 予算は平均4,312円と増加予想、「東海圏」で大きな上げ幅 ～「ホットペッパーグルメリサーチセンター」調べ～

株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘)に設置された「食」に関する調査・研究、地域振興機関「ホットペッパーグルメリサーチセンター」(<http://grc.hotpepper.jp/>)は、2014年～2015年の忘新年会についてのカスタマーアンケートを実施し、年末年始宴会シーズンの動向を発表いたします。

<要約>

■ 2014年～2015年の忘新年会への参加回数は「前年並み」の見込み。

・・・ P3-5

- ・ 3圏域（首都圏・関西圏・東海圏）合計では、参加回数が「昨年と変わらない」が76.9%と最多。
（参考）前年度の参加回数平均は忘年会1.3回、新年会0.8回。

■ 一回あたりの予算は4,312円（前年比+53円）

・・・ P6-7

- ・ 今年度の忘新年会一回あたり予算は3,000円～4,000円未満（28.1%）と5,000円～6,000円未満（27.1%）が多く、平均想定額4,312円と増加（前年比+53円）の予想。
- ・ 圏域別では東海圏の想定額の上げ幅がもっとも大きく4,385円（+98円）。

■ 参加予定は「会社・仕事関係」が最多の44.2%。積極参加派が微増し、「友人・知人関係」との参加意向の差が縮まる。

・・・ P8-9

- ・ 2014年～2015年の忘新年会で参加する機会がありそうな関係は「会社・仕事関係（44.2%）」、「友人・知人関係（41.9%）」。
- ・ 参加したい忘新年会では「友人・知人関係」34.5%（前年比-1.7pt）、「会社・仕事関係」19.8%（前年比+0.2pt）と差が縮まった。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

調査概要と回答者プロフィール

◎調査名 外食市場調査(2014年10月分)

◎調査方法 インターネットによる調査

首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食市場調査)の中で、昨シーズンの忘年会・新年会についての実績や、今シーズンの意向などを聴取。

◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20～69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2014年9月19日(金)～2014年9月30日(火)
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20～69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
④調査内容	本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	251,615 件
⑥回収数	38,894 件
⑦本調査対象者数	17,010 件

◆本調査対象者の割付について

- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくするために、割付をおこなって回収した。
- ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)＝250セル について、平成24年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
- ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。	
②調査期間	2014年10月31日(金)～2014年11月7日(金)	
③配信数	13,337 件	
④回収数	9,838 件	(回収率 73.8 %)
⑤有効回答数	9,726 件	(首都圏 4,904 件、関西圏 2,530 件、東海圏 2,292 件)

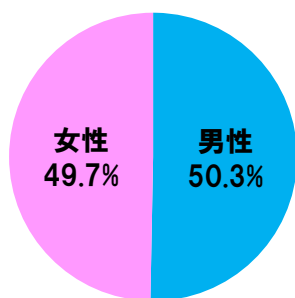
※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1か月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

◆集計方法について

- ・本調査結果は、平成24年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分＝250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
- ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 9,726 件(首都圏: 5,509 件、関西圏: 2,731 件、東海圏: 1,486 件)

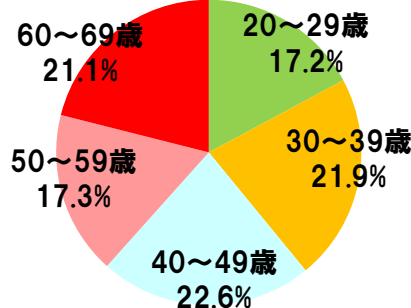
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

■性別



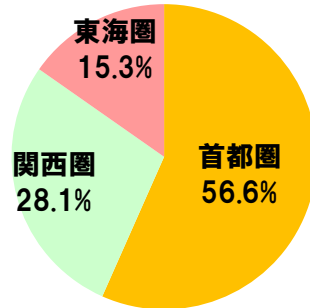
n=9,726

■年代



n=9,726

■居住地

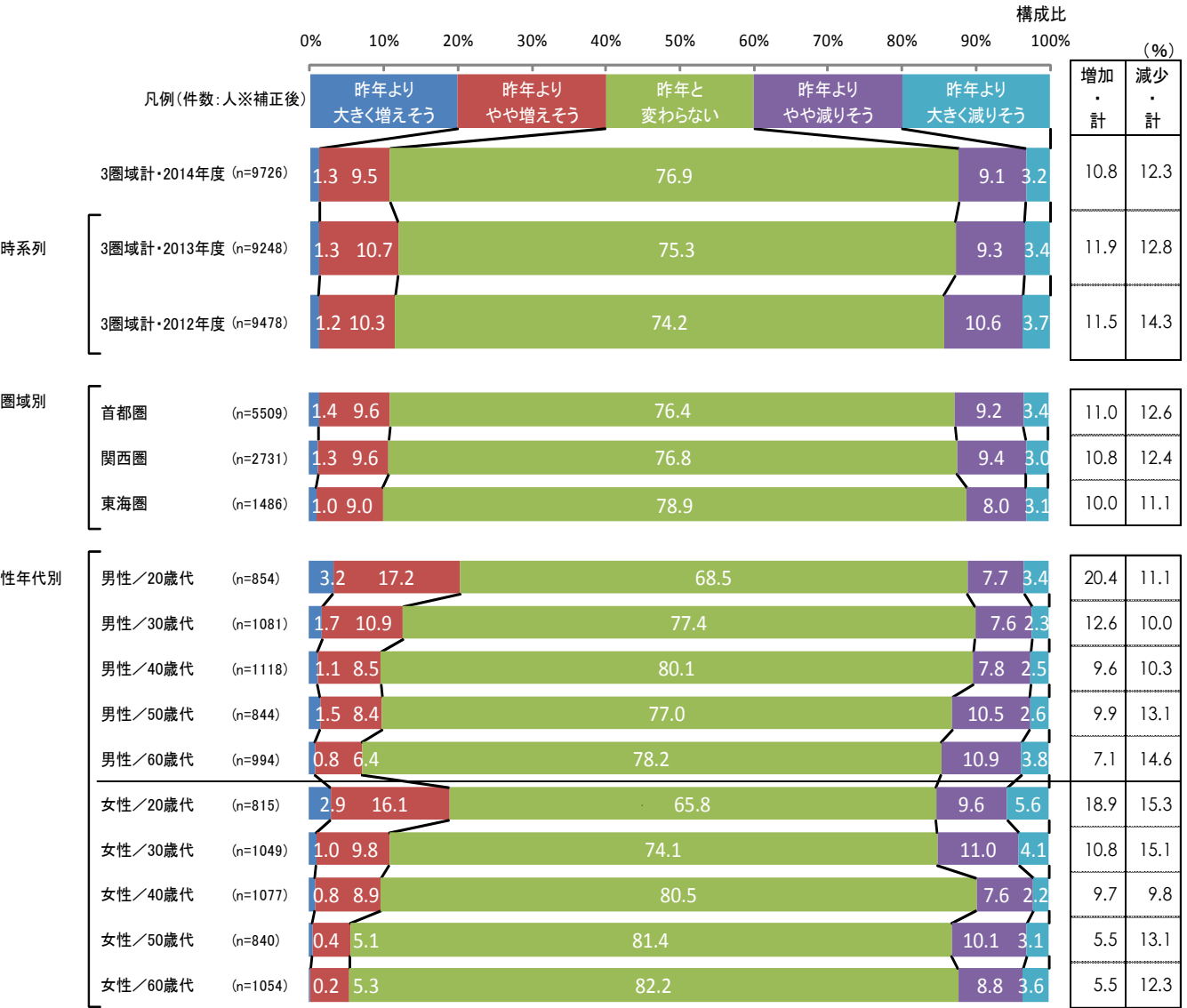


n=9,726

1. 2014年～2015年の忘新年会への参加回数は「前年並み」の見込み。

2014年～2015年忘新年会シーズンでの参加回数の見込みは「昨年と変わらない」という回答が首都圏・関西圏・東海圏の3圏域合計で76.9%（前年同調査では75.3%）を占めた。「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」の増加派は計10.8%（前年同調査では11.9%）、「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」の減少派は計12.3%（前年同調査では12.8%）となり、減少派が増加派を微妙に上回ったが、全体としてはそう大きな変化はなさそうだ。過去2年でも、「減少派」が「増加派」をわずかに上回る事前の見込みに対し、実際の参加の有無（次ページ参照）も見込み通り微減してきた。2014年12月の衆議院選挙の影響など含め、今期も微妙な参加率の減少があるかもしれない。

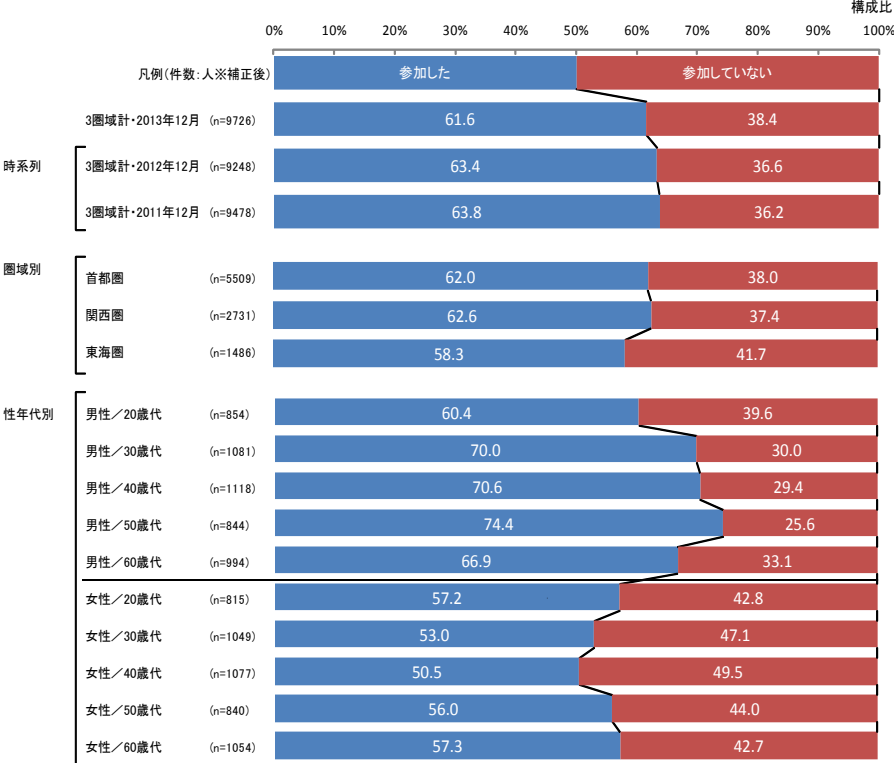
■ 今年＜2014年～2015年＞の忘年会・新年会の参加回数の見込み（単一回答）



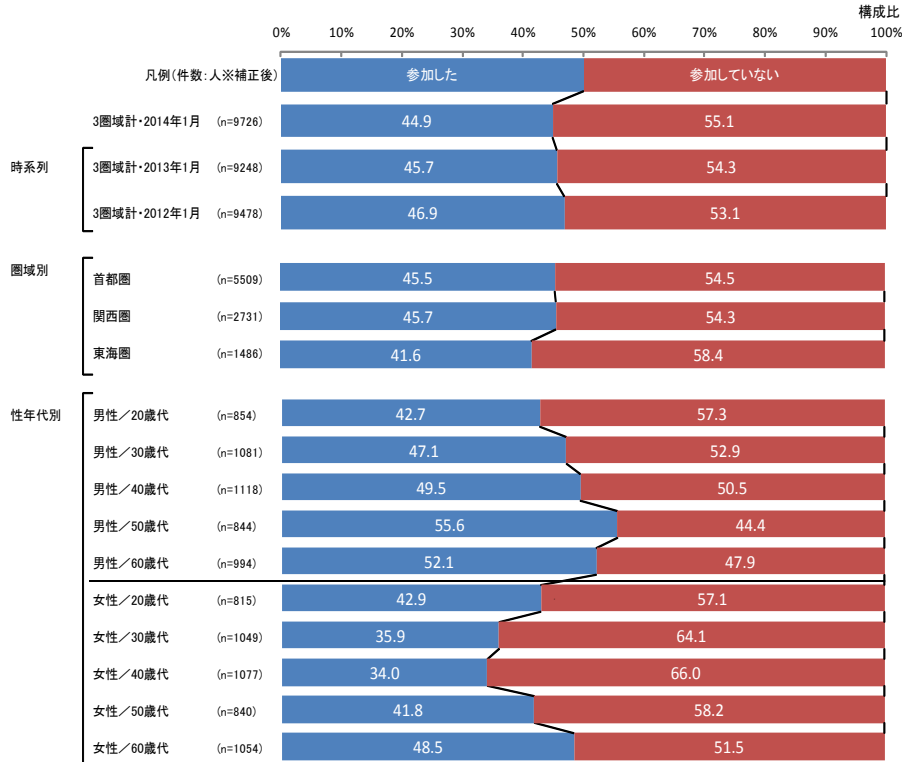
2.（参考）前年度【2013年12月～2014年1月】の忘年会・新年会参加有無

※今回(2014年)調査で聴取

■昨シーズン＜2013年12月＞の忘年会の参加有無（単一回答）



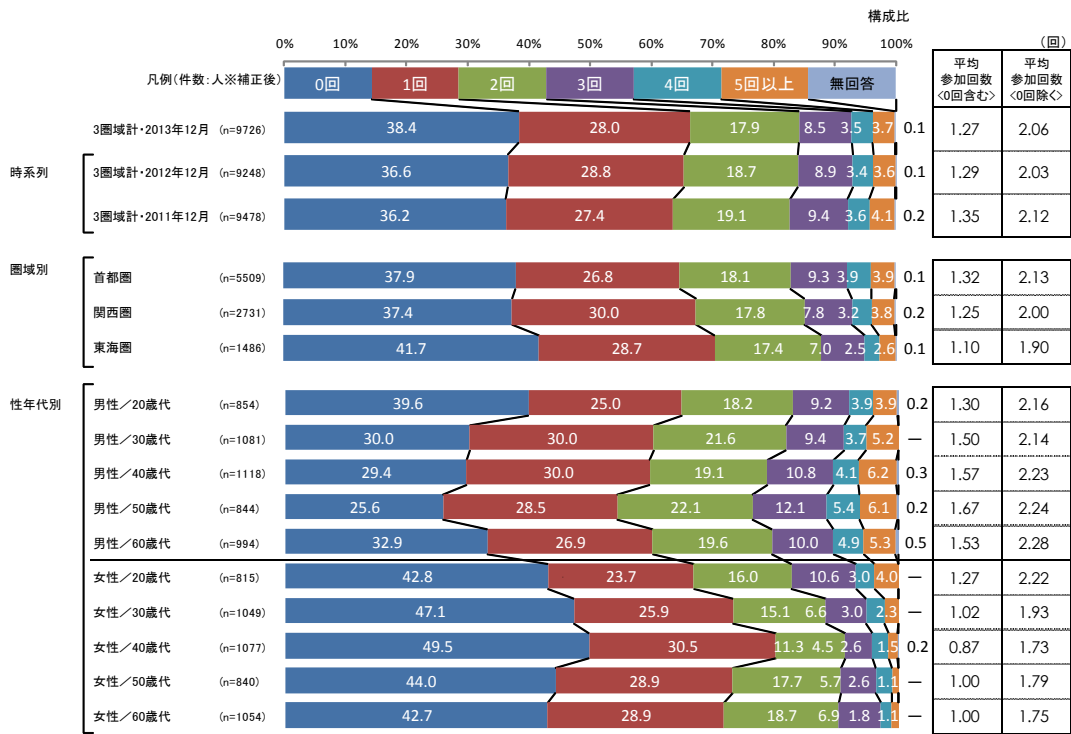
■昨シーズン＜2014年1月＞の新年会の参加有無（単一回答）



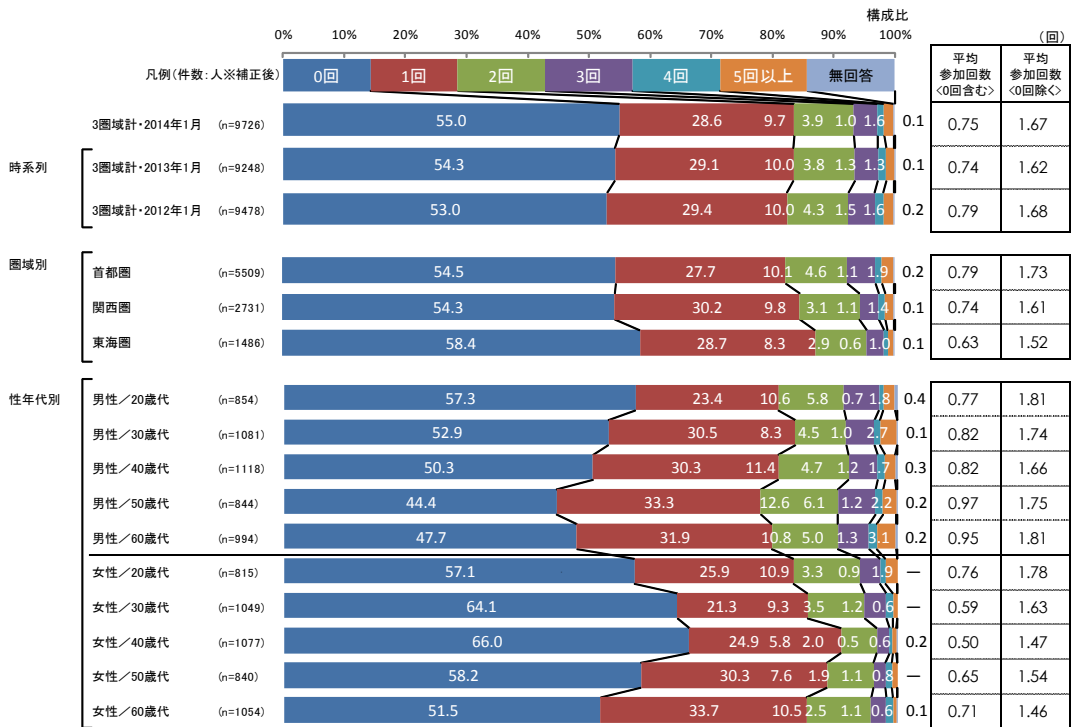
3. (参考) 前年度【2013年12月～2014年1月】の忘年会・新年会参加回数

※今回(2014年)調査で聴取

■ 昨シーズン＜2013年12月＞の忘年会の参加回数（実数回答）



■ 昨シーズン＜2014年1月＞の新年会の参加回数（実数回答）



※「平均参加回数」は、外れ値として上下0.1%の範囲のデータを除いて集計している。
そのため、0回の出現率が前ページと若干異なる場合がある。

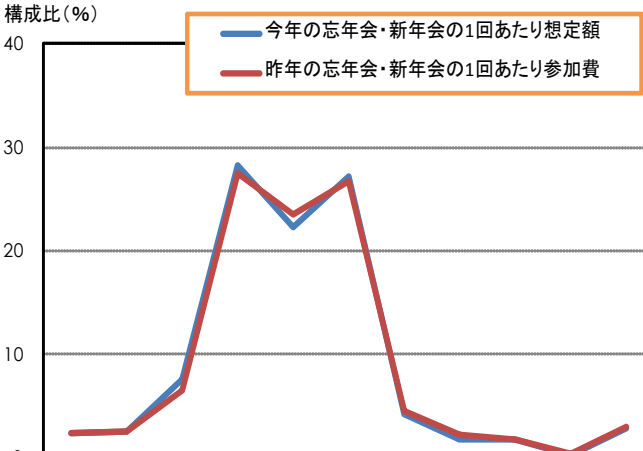
4. 1回あたりの忘新年会予算は増額の見込み。
上げ幅は東海圏がもっとも大きい。

忘新年会の予算については、前年度の実績と今年度の想定予算額を聴取した。1回あたり3,000円～4,000円未満（3圏域計：前年度実績27.4%、今年度想定28.1%）と5,000円～6,000円未満（3圏域計：前年度実績26.7%、今年度想定27.1%）のふたつの山がある。0円（自分では払いたくない）を除く今年の想定額は4,312円（前年比+53円）と予算は増加の見込み。圏域別（次ページ）では、東海圏がもっとも予算増加幅が大きく前年比+98円（4,287円→4,385円）。5ページの参加回数と合わせてみると、首都圏・関西圏と比べて東海圏では、相対的に回数は少なめながら、1回あたりは豪華な忘新年会を楽しんでいる様子がうかがえる。

■ 忘年会・新年会の支出実績と想定金額（2012年忘年会～2015年新年会）
（1回あたり参加費・単一回答）

※参加費は参加者ベース、想定額は参加する機会がありそうな人ベース

<3圏域計>



(件数:人※補正後)		構成比 (%)												平均(円)		
		0円	1～2千円未満	2～3千円未満	3～4千円未満	4～5千円未満	5～6千円未満	6～7千円未満	7～8千円未満	8～9千円未満	9千～1万円未満	1万円以上	無回答	参加費	想定額	想定額の 前年比
今年(2014～2015年)の忘年会・新年会の1回あたり想定額	7,403	2.2	2.5	7.6	28.1	22.2	27.1	4.0	1.7	1.7	0.2	2.8	0.1	-	4,312	+53
昨年(2013～2014年)の忘年会・新年会の1回あたり参加費	5,235	2.2	2.4	6.5	27.4	23.4	26.7	4.5	2.2	1.7	0.2	2.9	0.1	4,398	4,259 *1	+20
一昨年(2012～2013年)の忘年会・新年会の1回あたり参加費 *1	5,189	2.1	2.3	6.4	29.0	23.2	26.2	4.1	2.3	1.7	0.1	2.5	0.1	4,325 *1	4,239 *2	-

*1: 2013年調査で聴取したもの
*2: 2012年調査で聴取したもの

※平均(円): 0円を除いた平均値

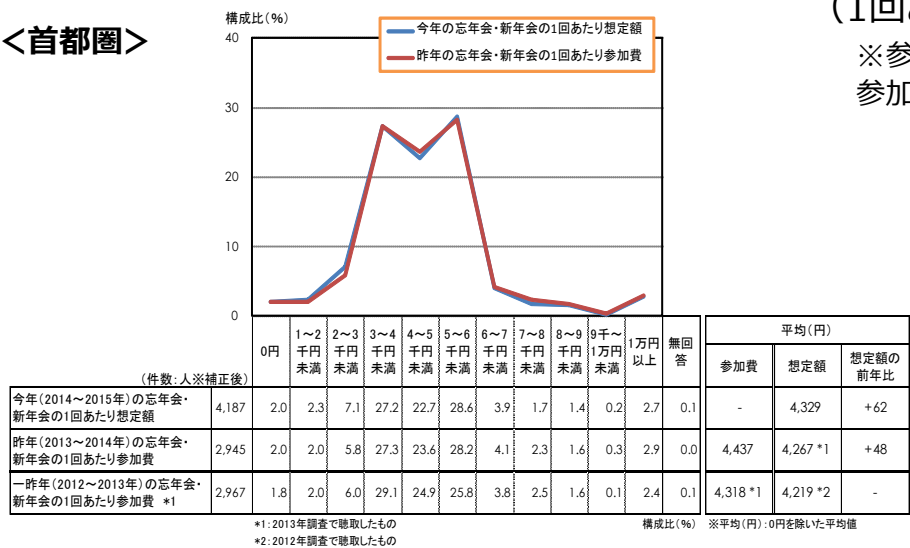
※平均は「0円（自分では払わない）」を除いて集計。
※外れ値として各費用の上下0.1%の範囲のデータを除いて集計している。
※想定額は「自分で払ってもいい額」として尋ねている。
※参加費は「自分で払ってなくても会にかかった1人あたりの金額」を尋ねている。

■ 忘年会・新年会の支出実績と想定金額（2012年忘年会～2015年新年会・圏域別）

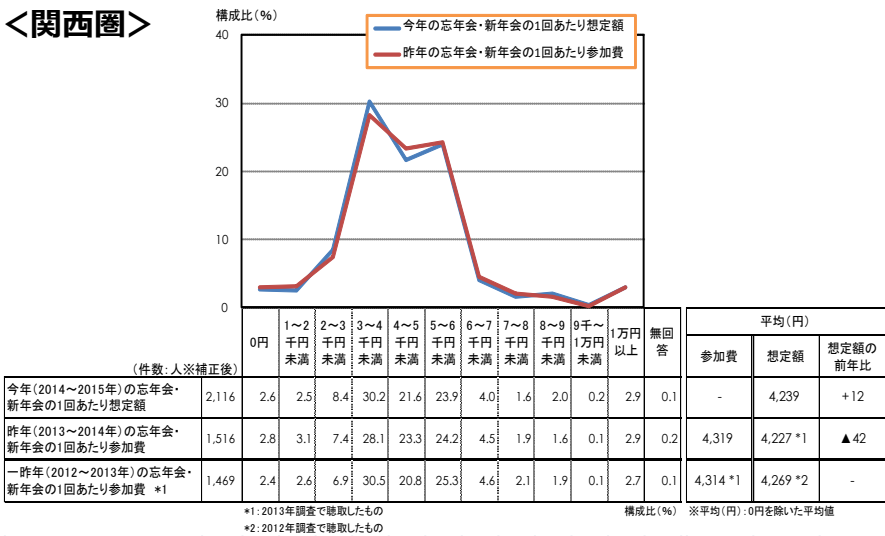
（1回あたり参加費・単一回答）

※参加費は参加者ベース、想定額は参加する機会がありそうな人ベース

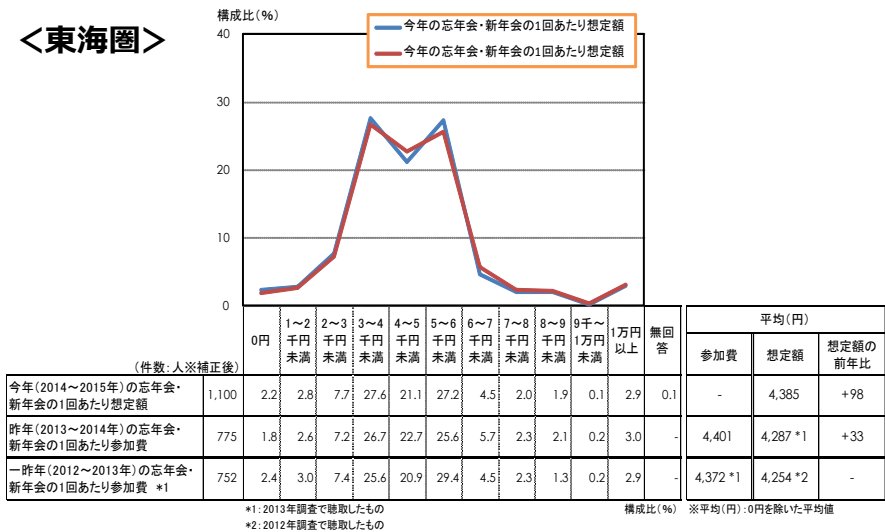
＜首都圏＞



＜関西圏＞



＜東海圏＞



※平均は「0円（自分では払わない）」を除いて集計。

※外れ値として各費用の上下0.1%の範囲のデータを除いて集計している。

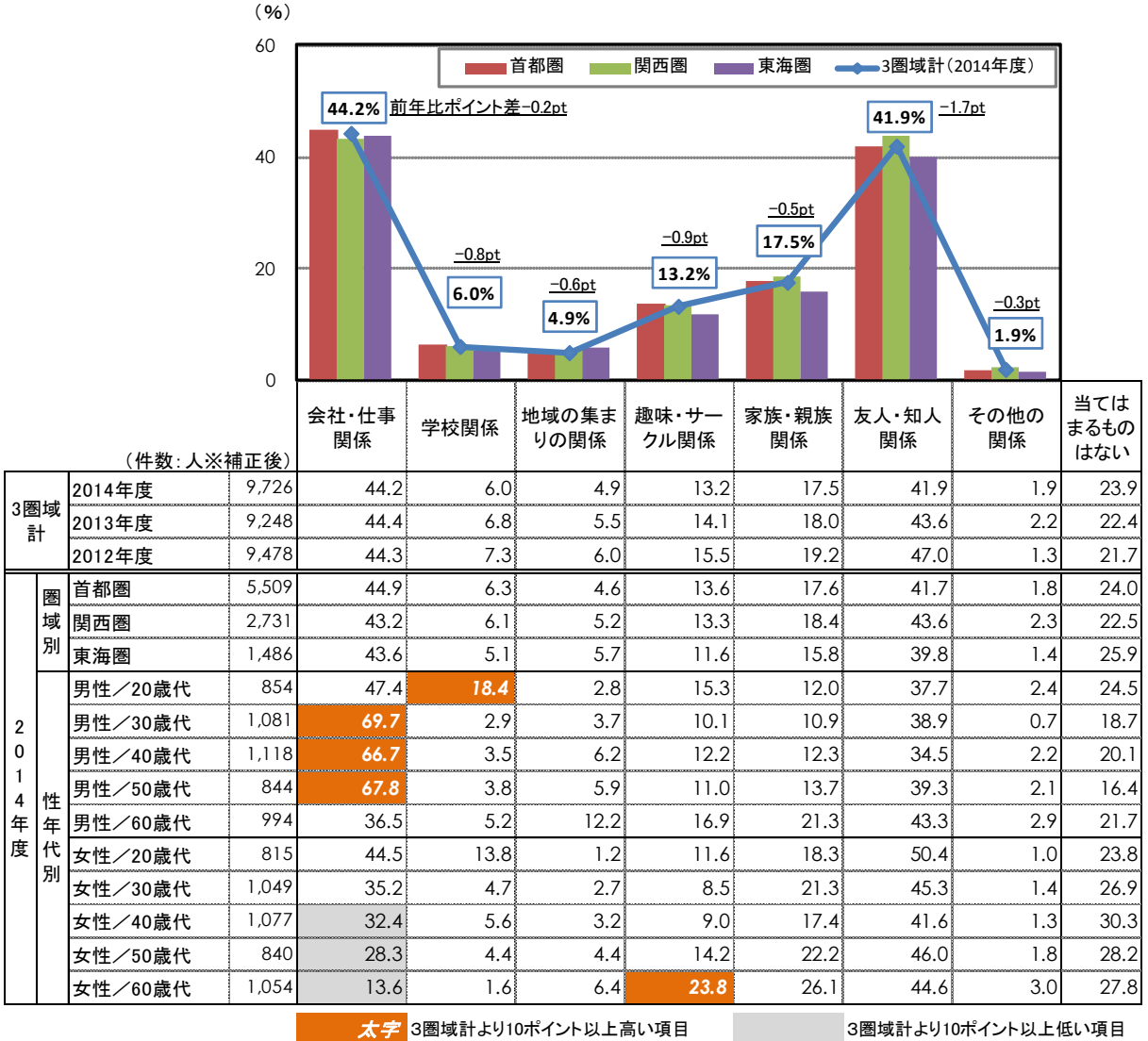
※想定額は「自分で払ってもいい額」として尋ねている。

※参加費は「自分で払っていないくても会にかかった1人あたりの金額」を尋ねている。

5. 2014 年～2015年の忘新年会、減る場合は「プライベート」系か？

2014年～2015年忘新年会を誰と行うかについて聴取した結果、3圏域合計でもっとも多かった相手は「会社・仕事関係」で44.2%、次いで僅差で「友人・知人関係」が41.9%となった。前年の実績と比較すると、「会社・仕事関係」は-0.2pt (44.4%→44.2%)と微減にとどまっているが、「友人・知人関係」は-1.7pt (43.6%→41.9%)、ほかに「家族・親族関係 (-0.5pt : 18.0%→17.5%)」「趣味・サークル関係 (-0.9pt : 14.1%→13.2%)」も減り幅がより大きい。参加回数が微減するとしたら、オフィシャル(仕事関係など)よりプライベート(家族・友人関係)の機会可能性が高そう。また、圏域別では、首都圏・関西圏に比べると東海圏では「友人・知人関係」「家族・親族関係」「趣味・サークル関係」など、プライベート系の忘新年会が少なめの傾向にある。

■ 今年<2014年～2015年>に参加する機会がありそうな忘年会・新年会の関係 (複数回答)



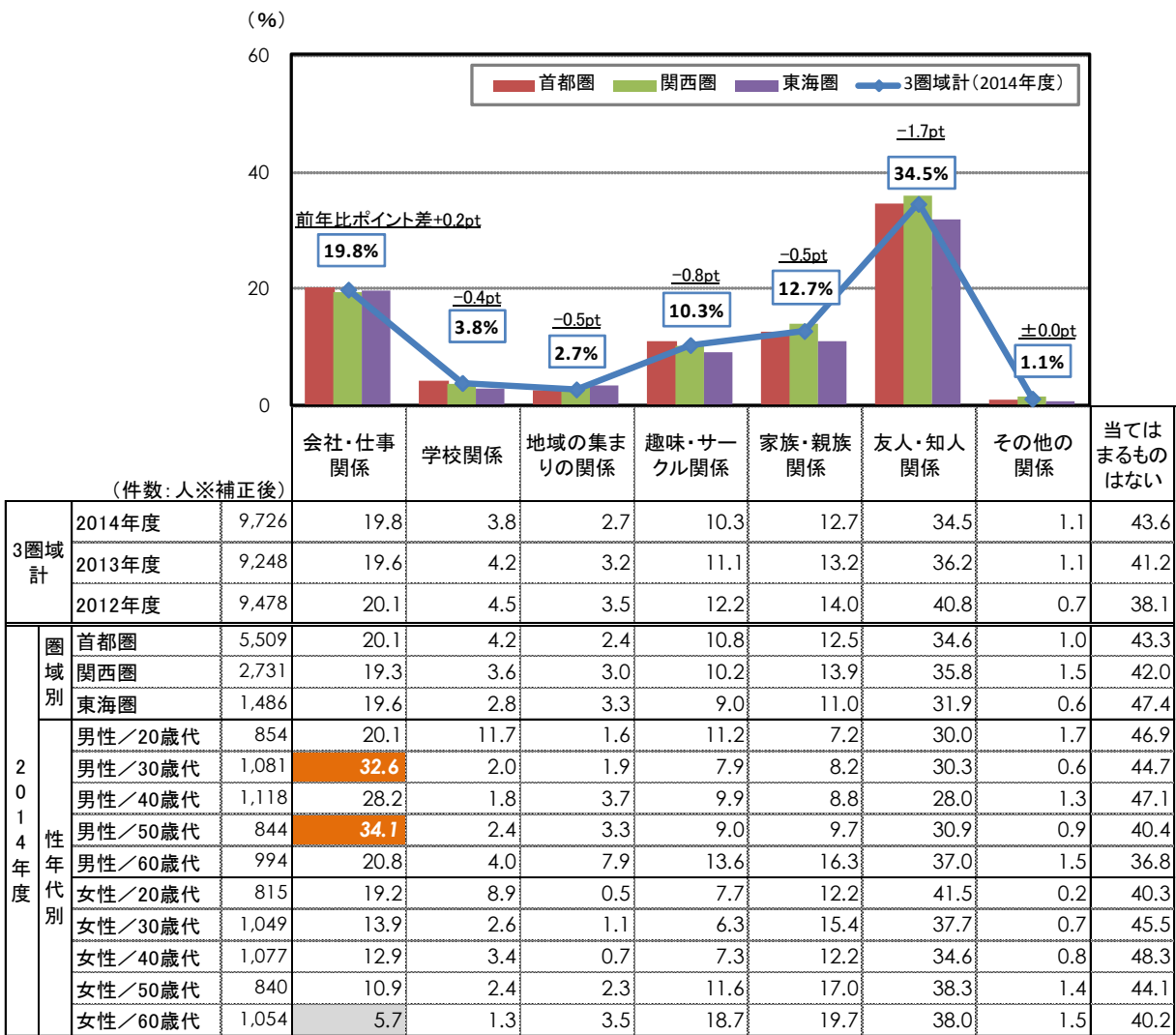
太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目 3圏域計より10ポイント以上低い項目

※「2013年度」は2013年調査で聴取したもの
※「2012年度」は2012年調査で聴取したもの
※前年比ポイント差:「(2014年度)-(2013年度)」で算出

6. 参加したい忘新年会、「友人・知人関係」と「会社・仕事関係」の差がさらに小さく。

2014年～2015年の忘新年会で「積極的に参加したい関係」を聴取したところ、「友人・知人関係」が3圏域合計で34.5%ともっとも多かったが、前年比では－1.7ptの減少であった。「会社・仕事関係」は積極的に参加したい割合は低めで19.8%だが、前年比では0.2pt増加しており、友人・知人相手と会社・仕事相手の忘新年会の積極参加意向者の割合の差は縮まった。両者のスコア差は2012年調査では20.7pt、2013年調査では16.6pt、今回2014年調査では14.7ptと着実に縮まっており、好業績企業による宴会費用負担の動きなどが影響している可能性も考えられそうだ。

■今年＜2014年～2015年＞、積極的に参加したい忘年会・新年会の関係（複数回答）



太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目 3圏域計より10ポイント以上低い項目

※「2013年度」は2013年調査で聴取したもの
※「2012年度」は2012年調査で聴取したもの
※前年比ポイント差:「(2014年度)－(2013年度)」で算出